

# とちぎ市議会だより

第58号(6月定例会)  
2023.8.18発行



## 大きくはばたけ

**特集**

副議長就任インタビュー.....	2
視察受け入れ(議会運営委員会).....	13
政務活動費収支状況報告.....	14・15

表紙写真の説明.....	3
シェアサイクル条例を制定.....	4
(6月定例会で決まったこと)	
14人の議員が市政を質す.....	6~12
(一般質問)	



# 副議長に天谷浩明議員を選出

## 議会人事

定例会初日、副議長の選挙が行われました。本市議会では、選挙の前に就任を希望する議員による所信表明会を開催しています。

所信表明会では、2人の議員が議会運営に係る所信や抱負を述べ、投票する議員の参考としました。



天谷 浩明 副議長

### 副議長としての抱負は

副議長選挙の所信表明でもお話ししましたが、市民の皆さまに議会の成果を実感していただけるように努力したいと考えています。

また、私なりに議会に一石を投じ、今まで以上に風通しのよい議会にしていきたいです。

**前述の内容を進めるための具体策は**

議員全員が一丸となって市民に愛され、安心・安全に暮らせる栃木市をつくる政治を行っていきます。町

### 現在の栃木市議会をどう見ているか

議・市議27年間の経験を生かし、時には憎まれ役も買って出て、議会を一つにまとめたいと思っています。議会は市民のためにあるということを議員全員に再認識していただき、よりよい栃木市・栃木市議会となるよう努めてまいります。

市民の皆さまに二元代表制の意義を疑われないよう是々非々をモットーに十分な議論を尽くしてよりよい施策を見出さなければなりませんと思います。そうでなければ、何のための議会かを問われてしまいます。常に市民目線で市民の、市民による、市民のための政治を心掛け、皆さんが誇れる栃木市にしていきたいです。

## 副議長選挙に向けた所信表明会



大谷好一 議員

### 〈大谷議員〉

- ・ 議員間討議のさらなる充実を目指す。
- ・ 議員提案などが行いやすい体制づくりの検討を進め、政策立案を通じて議会力を高めるとともに議員の資質向上につなげていく。
- ・ 公平公正な議会運営に取り組み、市民に信頼され開かれた議会を目指す。

### 〈天谷議員〉

- ・ 自然災害や感染症、物価高騰など市民生活の安心安全が脅かされている。負担を強いられている市民のためにも市民の安心安全を取り戻す一助となりたい。
- ・ 市民に分かりやすい議会、風通しのよい議会を目指す。



天谷浩明 議員

## 副議長選挙



天谷議員が16票を獲得し当選



2人の議員の立ち合いによる開票



全議員28人が投票

## ▶ 物価高騰対策を中心とした補正予算等を可決（5月臨時会）

5月9日に開催された臨時会では、物価高騰の影響を受けている低所得の子育て世帯を支援するために、国から交付金が支給されることとなった「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業」や「保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業」を早急に実施するために、補正予算等が審議されました。

なお、5月臨時会では、報告1件と議案7件が審議され、全て原案のとおり可決されました。



補正予算の説明をする大川市長

## ▶ 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を国会に提出することを要望する陳情（提出者：選択的夫婦別姓・全国陳情アクション栃木）



### 【陳情要旨】

選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を、栃木市議会から国会に提出していただけるよう陳情する。

6月定例会に提出された本陳情は、民生常任委員会において審査を行いました。審査に先立ち、民生常任委員研究会を開催し、陳情提出者から陳情の趣旨などについて意見聴取を行いました。

委員会の審査では、全会一致で「採択すべきもの」となり、定例会最終日の本会議においても全会一致で採択されました。

※主な意見や採決結果については、4・5ページをご覧ください。



提出者から意見聴取を行いました



表紙の写真

## 大きくはばたけ

今回の表紙は、おおひらふじ幼稚園スポーツクラブの子どもたちの活動を撮影させていただきました。

スポーツクラブでは、ボールを使った運動やリレー、綱引きなどさまざまな運動に取り組んでおり、子どもたちは元気いっぱい活動していました。

少子化が進む時代だからこそ、子どもたちが安心して生活できる環境をつくっていかねばなりません。

子どもたちが元気いっぱいに育ち、未来に向かって大きくはばたいてくれることを願っています。

（撮影協力：おおひらふじ幼稚園スポーツクラブ 表紙撮影：川田・小平委員）



# 6月定例会で決まったこと(主な議案等)

6月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。  
各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。  
下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



## 高規格救急自動車を購入

議案第70号  
財産の取得  
(高規格救急自動車)

**可決** 全会一致

### 議案の概要

栃木市消防署藤岡分署に配備中の高規格救急自動車1台が老朽化したため、高規格救急自動車1台を購入するもの。

### 主な質疑応答

**質** 更新対象車両の運行状況は

**答** 約9年間使用し、走行距離は約20万7千キロメートルである。

**質** 今後ベースとなる車両メーカーの数を増やす考えは

**答** 入札参加には、栃木市物品購入等入札参加資格者のうち、救急自動車販売または消防車両販売登録が

あること、高規格救急自動車に積載する医療用資器材の販売許可を有していること、過去10年以内に高規格救急自動車の新車納入実績があることなどを条件としているため、今後の参考とさせていただきます。

### 高規格救急自動車とは

救急救命士が行う救命処置に必要な資器材を搭載し、高度な救命処置等が行えるスペースが確保された救急車のこと。



## 条例を新たに制定

議案第62号  
栃木市シェアサイクル条例の制定

**可決** 全会一致

### 議案の概要

栃木市シェアサイクルを設置するに当たり、その設置および管理に關し必要な事項を定めるため条例を制定するもの。

### 主な質疑応答

**質** 利用する際の申請方法は

**答** ダウンロードしたアプリを通して申請いただくことになる。

**質** 昨年度の実証実験で使用したシステムとの違いは

**答** 実証実験で使用したシステムを引き続き使用する予定であり、すでにアプリをダウンロードしている方は継続した利用が可能となる。

**質** 実証実験の結果は

**答** 3カ月間で1563回、527名の利用があり、曜日ごとに多少の増減はあったが1週間を通して利用があった。

## 選択的夫婦別姓に関する議論の活性化を

陳情第2号 選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を国会に提出することを要望する陳情

**採択** 全会一致

### 主な意見

#### 採択すべき(賛成)

・意見陳述において、陳情者が社会での生きづらさを感じており、切実な問題であることがうかがえた。今回の陳情は、選択的夫婦別姓制度について国会で議論すべきとの趣旨であり、意見書を提出することに賛成である。

・陳情者より、選択的夫婦別姓制度は、現在社会問題となっている事実婚や非婚化、少子化の対策につながる可能性があるとの説明があり、国会に議論の活性化を求めていくとの趣旨であることから賛成である。

※陳情の概要は、3ページをご覧ください。





本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案番号と発言した議員名は次のとおりです。(○=賛成 ●=反対)

議案第63号 ●白石幹男議員 ○雨宮茂樹議員

**討論(議案第63号)**  
**反対(白石議員)**

市税条例の改正には、2024年度から国民に一律千円の負担を求める森林環境税に関する規定が含まれている。低所得者に一律の負担を求める一方で、温室効果ガス排出企業には負担を求めておらず、森林環境税の目的が温室効果ガスの排出削減目標の達成であるならば、企業にも応分の負担を求めるべきである。また、森林環境税と税の交付基準は、森林等の面積が50%、人口配分が30%、林業従事者数が20%となっており、私有人工林が少ない都市部に多額に配分されてしまったため、森林を有する自治体が、体制整備や森林整備に活用できるよう交付基準を見直すべきであると考え、反対する。

**賛成(雨宮議員)**

森林環境税は、賦課徴収された税収の全額が森林環境税として、都道府県、市区町村へ譲与されることになっており、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備およびその促進に関する費用に充てるとされている。本市にとっても、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐためには、森林環境の整備や間伐材の有効利用、集落とその周辺にある農地やため池・森林等の適正な管理が必要不可欠であり、そのためにも森林環境税は貴重な財源であると考えられるため、賛成する。

**議案等の審議結果**

6月定例会では、議案15件、陳情1件が審査されました。  
 賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

賛成：○ 反対：●


番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
			川田 俊介 真政クラブ	小太刀孝之 創政会	市村 隆真 真政クラブ	雨宮 茂樹 公明党議員会	森戸 雅孝 真政クラブ	浅野 貴之 かがやき	小平 啓佑 自民未来	大浦 兼政 自民未来	針谷 育造 創志会	古沢ちい子 公明党議員会	大谷 好一 自民未来	坂東 一敏 かがやき	内海まさかず 創志会	小久保かおる 公明党議員会	青木 一男 自民未来	松本 喜一 自民未来	梅澤 米満 真政クラブ	天谷 浩明 無党派	針谷 正夫 かがやき	広瀬 義明 自民未来	氏家 晃 自民未来	福富 善明 真政クラブ	福田 裕司 創政会	中島 克訓 無党派	大阿久若人 真政クラブ	小堀 良江 真政クラブ	白石 幹男 無党派	関口孫一郎 自民未来
議案第63号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※その他の議案14件と陳情1件は、全会一致で可決されました。

傍聴にお越しください！

6月定例会の傍聴者数(本会議)は、延べ91人でした。

予約の必要はありませんので、お気軽に議場(市役所本庁舎4階)までお越しください。





白石 幹男 議員  
無会派

**マイナ保険証の取得強制  
国に中止を求めよ！**

健康保険証を廃止し、マイナ保険証の取得を強制する「マイナンバー法等改正案」が成立した。

相次ぐマイナンバーカードを巡るトラブルや「無保険者」の発生が懸念される中で、健康保険証を廃止すれば、国民皆保険制度の崩壊にもつながりかねない。

このマイナ保険証について、どのような問題意識を持っているのか、また、来年秋の保険証廃止の中止を求めていくべきと考えるが、見解を伺う。

**答弁** 大豆生田生活環境部長

**安全性向上と利便性低下を  
招かぬよう国に要望していく**

国は、「マイナンバーカードは、国民の申請に基づき交付される」と



保険証を紐づける  
マイナンバーカード

- 新型コロナウイルスの5類移行
- **マイナ保険証**
- 市営住宅
- 高齢者世帯へのエアコン購入補助制度

しており、本市も同様の認識である。また、報道等で流れている個人情報への漏えいにつながるようなマイナンバーカードに関するトラブルは、本市では発生していない。国では、健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案が成立したが、これまで「マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する検討会」において、健康保険証の一体化の実施に向けて課題の整理と必要な対応が検討されていることから、国の動向を注視し、さらなる安全性の向上と利便性の低下を招かない取り組みについて、国に要望していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



小久保 かおる 議員  
公明党議員会

**業務適正化に関する今後の  
具体的な施策は**

本市では、教員業務支援員の配置や「栃木市版 先生の働き方改革ガイドライン」の策定を行い、校内業務のスリム化や学校事務の効率化等を進めることにより、国が示す過労死ラインを超える教職員の割合は減少したが、依然として存在しており、さらなる対策が必要である。

すでに「栃木市版 先生の働き方改革」プロジェクトチームの設置等を実施しているが、今後の業務適正化に関する具体的な施策について伺う。

**答弁** 金井教育次長

**事務の効率化と、休日における  
学校の部活動の地域移行  
に取り組む**

学校現場の業務適正化について

- 恋人の聖地を活用した地域の活性化
- **教師と子どもたちをめぐる教育環境**
- 子どもたちが安心して教育を受けるための環境整備

は、タイムレコーダーによる勤務時間の管理、教員業務支援員や部活動指導員等の人的配置、共同学校事務室と連携した学校事務の効率化等を図ることにより、教職員の働き方改革を進めてきた結果、国が示す時間外勤務「月80時間」の過労死ラインを超える本市教職員の割合は、令和2年度は8.8%、令和3年度は8.1%、令和4年度は7.9%と年々減少しているが、さらなる改革が必要であると考ええる。

本年4月には、「栃木市版 先生の働き方改革ガイドライン」を改訂し、令和9年度までに、時間外勤務時間の上限を「月45時間」とする目標値を新たに設定したところであり、引き続き勤務時間管理の徹底や校務のデジタル化による事務の効率化等に取り組むとともに、新たに休日における学校の部活動の地域移行等に積極的に取り組むことにより、教職員の多忙化解消に努めていく。



小太刀 孝之 議員  
創政会

教育費負担が増加する世帯にさらなる支援を

本市の通学者定期券購入費補助は、若者世代の支援を目的に通学版楽賃として、都内に通学する学生（専修学校・短大・大学生）を対象に1年度で最大2万円を補助している。

しかし、都内への通学定期券購入費の実態を見ると、現状の補助額は適正だろうか。また、この制度の対象を県内に通学する高校生まで拡大し、支援の拡充を図れないか。補助額上限の引き上げと制度の対象拡大について見解を伺う。

答弁 石川地域振興部長

状況を見極めながら、補助金額の増額や対象者の拡大を検討していく

通学版楽賃は、大学進学を機に、多くの若者が首都圏へ転出し、そ

●本市における子育て支援の拡充  
○女子野球国際大会開催

のまま就職するケースが多いことから、本市から首都圏へ通学する者に対し、通学費用の一部を補助することにより、卒業後の就職に伴う若者世代の市外流出を抑制し、本市の定住を促進するための制度である。

令和4年度から補助金額の変更はないものの、東武鉄道利用に加え、JR利用の学生も対象として補助制度を拡充したところ、申請件数も増加している。

高校生への補助制度の拡充については、現在の通学版楽賃の実績を鑑み、今後、補助金額の増額や対象者の拡大について、状況を見極めながら検討していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



内海 まさかず 議員  
創志会

水害対策の計画の全体像と工事の進捗状況は

令和元年の台風19号では多くの市民が被災した。被災した市民は、現在でも大雨が予報されると不安な時を過ごしている。現在、栃木県により1級河川永野川・巴波川の治水対策が行われており、永野川・巴波川に接続する支川の内水氾濫対策は栃木市が行っている。

栃木市では河川・下水道・農林関係の各課がそれぞれ対策を行っているが、現在の工事の進捗状況を伺う。

答弁 橋本都市建設部長

県と連携を図りながら、市全体で計画的に取り組んでいく

現在、栃木県により巴波川については、地下トンネルによる捷水路の整備事業が、永野川については改良

●水害対策  
○部屋小移転問題

復旧事業が進められている。

本市の浸水対策については、巴波川流域は、箱森町の旧赤津川に放水路を整備中であり、今後、旧下都賀病院駐車場跡地に地下貯留施設の整備を進めるほか、4カ所の調節池を整備していく。また、永野川流域は、今後、3カ所の調節池の整備と3カ所の排水ポンプ施設を整備していく。さらに、巴波川上流域および永野川上流域に、田んぼダムの整備を進めており、農地の所有者と耕作者に協力いただきながら実施していく。

今後、県が行う事業と連携を図りながら、市全体で計画的に「流域治水」に取り組んでいく。

捷水路（しょうすいじろ）

曲がりくねった河川をまっすぐ直した人工の水路のこと。

放水路（ほうすいじろ）

海や他の河川に水を放流する人工の水路のこと。





川田 俊介 議員  
真政クラブ

### 栃木市独自の官民連携や先進的な取り組みを

本県は日照時間が全国でも比較的長く、太陽光発電に向いている地域といわれている。

これを踏まえ、官民で連携し、太陽光発電パネルの下の日陰でも栽培できる農産物をつくる農シエアリングにも取り組み、さらには、その農産物を生かした栃木市独自の商品や特産物を開発・販売することで官民連携のみならず、農業商業の連携も行うことができる大きなポテンシャルを秘めているのではないかと考えるが、今後の官民連携についての考えや取り組みについて伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

官民連携によるネットワークを構築し、着実に推進していく。

### ●カーボンニュートラル

地方自治体にはカーボンニュートラルの達成に向けて、地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入や省エネの取り組みに併せて、地域経済の活性化、防災や暮らしの質の向上に資する地域の課題に貢献する取り組みが求められている。

これらを実践していくためには、市、市民、事業者が一体となって推進することが必要であるほか、農林水産業、商工業、観光や教育等、さまざまな分野での協力・連携が重要であると認識している。

カーボンニュートラルの達成は、市民や事業者の理解と協力がなければ成し遂げられないことから、ゼロカーボン宣言を契機とした地球温暖化防止に対する周知啓発、情報共有を図り、協力的体制を確立するため、官民連携によるネットワークを構築しカーボンニュートラルを着実に推進していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



浅野 貴之 議員  
かがやき

### 男性の育休取得の促進を

育児は女性の役割という意識は根深く、女性への過度な負担は、出産意欲の低下や就業継続の妨げにつながり、社会的な意識変革と男性中心の職場を変えていく取り組みが急務である。

男性の育休推進は、若い世代が安心して出産できる環境づくりにつながるが、本市男性職員による育児休暇・休業の取得および促進の状況、男性が育休を取得しやすい社会づくりに向けた民間企業への普及・促進方法を伺う。

答弁 小川こども未来部長

情報提供や意識啓発により男性の育休取得をさらに推進していく

本市男性職員の育児に伴う休暇の取得状況は、育児参加休暇が、平成

### ●少子化対策に向けた取り組みと決意

○栃木市版先生の働き方改革ガイドライン

30年度13名、令和元年度21名、同2年度21名、同3年度15名、同4年度27名、育児休業が、平成30年度0名、令和元年度2名、同2年度2名、同3年度6名、同4年度は2名となっている。

また、職員向けの子育てに関する休暇制度等の取得促進については、セミナーの実施や子育て応援ハンドブックにより毎年周知を図っている。民間企業への普及促進方法としては、パンフレットの配布、ホームページでの情報提供を行っており、平成29年度からは、市内事業所の経営者や勤労者等を対象に、「ワークライフバランスを推進する」をテーマに講演会を開催している。講演会はコロナ禍により中止されていたが、本年3月には延べ4回開催し、合計215名の参加があった。今後も講演会等を通して民間企業への意識啓発を行っていく。



実現に向けた施策を!!



小堀 良江 議員  
真政クラブ

誰もが生き生きと暮らし、豊かで活力ある男女共同参画社会を目指すため、令和5年3月、「とちぎ市男女共同参画プラン第3期計画」が策定された。

この計画を推し進めることが、女性活躍、男女共同参画社会の実現につながっていくものと考えているが、どのような施策を行っていくのか、市の考えを伺う。

答弁 大豆生田生活環境部長

男女共同参画への理解と意識高揚に努めていく

「とちぎ市男女共同参画プラン第3期計画」では、「誰もが生き生きと暮らし、豊かで活力ある男女共同参画社会の実現」に向け、意識づくりや環境づくりなどを目標に掲げている。具体的施策としては、令和9

- 女性活躍社会の実現
- 第2次栃木市総合計画
- こども家庭センター

年度の目標値として、市の各種委員に占める女性の割合を40%、市管理職への女性の登用率を18%、男性職員の育児休業取得率を30%などと設定し、女性の意思決定への参画やアンコンシヤス・バイアスの軽減とともに、ワーク・ライフ・バランスを促進できるような環境の整備、充実を図る。

また、講座の実施や男女共同参画の視点を生かした避難所の運営、DVを防止するための啓発や相談窓口の充実などを継続して進めていくほか、今年度、新たに男女共同参画の推進に積極的な事業所の表彰制度を新設し、市内事業所や市民の男女共同参画への理解と意識高揚に努めていく。

アンコンシヤス・バイアス  
無意識の思い込みや偏見のこと



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



市民負担増の事業参加合意は止めるべき



針谷 育造 議員  
創志会

県から市に対する用水供給条件の検討依頼の状況とその内容や日程、用水供給単価の試算の状況について伺う。

また、検討に当たっては、市の考えを決定することが先であり、それ以前に関係市町でのすり合わせを行うことは、主体性の放棄に当たるのではないかと、さらには、市民の負担増となるだけの事業化に向けた合意形成は、止めるべきであると考えているが、市の見解を伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

市民や市議会の意見を十分に聞いた上で事業参画の判断をする

令和3年12月に開催された県南広域的水道整備事業検討部会におい

- 県南広域的水道整備事業
- 平和行政
- 学校の統合・移転

て、用水供給条件の検討を依頼されており、検討内容としては、水道用 水の供給を受ける場合の受水先や計 画水量と考えている。なお、検討の 期限は示されていない。

検討部会で提示された「市町協議 スケジュール」の中にある「用水供給条件の市町とのすり合わせ」は、用水供給単価を試算するために、県 が2市1町と調整を行うものである。その後、県において財政支援も含めた検討が行われ、それを加味した用水供給単価が検討部会に提示されるものと考えている。

市としては、県から用水供給単価が提示された後に、市民および市議会に情報提供を行い、意見を十分に聞いた上で、事業参画についての判断をすることと認識している。



地下水は栃木の宝



両宮 茂樹 議員  
公明党議員会

### 市民の負担を減らす 「ワンストップ窓口」の導入を

書かない窓口は、市民が申請書を記入することなく、住民票等の交付が受けられるワンストップ窓口である。これを市役所内の広範囲で導入することにより、市民は窓口で「書かない、待たない、回らない」で済むようになり、自治体は窓口職員の数減らすことも可能となる。

導入によるメリットは多いと考えられるが、書かない窓口の導入について市の見解を伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

### 窓口業務改善の実施と併せ、 書かない窓口の導入を検討 しよう

書かない窓口の導入については、市民が窓口で申請書等に記入する手間を削減できることから、市民サ-

●自治体DXとデジタル化  
○特性を持つ子供たちへの対応

ビスの向上に有効な方策の一つと捉えている。

しかし、単にコンピューターシステムの導入だけでは、その効果は限定的となる恐れがあり、業務の改善と併せて実施することが効果的であると考えている。

そのため、今年度は、窓口業務の課題を洗い出すことを目的に、窓口DXアドバイザーの派遣を栃木県に依頼しているところであり、窓口業務改善の取り組みから行う。

現時点で、書かない窓口システムの具体的な導入時期は未定であるが、早期の実施が図れるよう、アドバイザーの助言をいただきながら窓口業務改善の実施と併せ、書かない窓口の導入を検討していく。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



大浦 兼政 議員  
自民未来

### 今が市民と行政が真剣に 向き合うチャンスである！

旧警察署跡地について、今までの行政の進め方では、市民との合意形成が図れていないと感じている。

各団体からの要望書やパブリックコメントを見ても、スケジュールの見直しは必要であり、市民とさらに話し合う時間、そして行政と協議する時間をつくるべきである。

今後、スケジュールの見直しを予定しているとのことだが、スケジュールの見直しにとどまらず、早急に旧警察署跡地の利用を検討する協議会を設置するべきだと考えるが、市の見解を伺う。

答弁 橋本都市建設部長

### 地元や各団体の要望を踏まえ、 意見を聞く検討会議を 設置していく

●このままでいいの？旧警察署跡地  
○ゴルフのまち栃木市構想を提案  
します！  
○永野川堤防（土手）の安全確保

市としても地域の皆さまの意見を聞く場を設けることは必要であると考えている。

地元の皆さまや商店会等まちづくりに携わっている各団体の方々の要望を踏まえ、意見を聞く検討会議を設置していく。



現在の旧警察署跡地





市村 隆 議員  
真政クラブ

**将来の自主財源確保に  
具体的な施策を打ち出しては**

国道50号線沿線を商業系産業誘致地区に指定してはどうかとの問い合わせがあったと承知している。

県の方針にかたくなに従っているばかりでは、新たな地域創生などは夢のまた夢で何も生まれない。

栃木市の開発指導は、県各課の指導に加えて上乗せで指導をしているとの話も伺うが、栃木市の開発指導についての見解を伺う。

**【答弁】** 橋本都市建設部長

**工夫しながら  
財源確保に努めていく**

国道50号沿線地域は、大部分が市街化調整区域で、建築物の立地規制が厳しい地域であるが、佐野藤岡インターチェンジに直結する交通便利性に優れた地域であると認識してい

- 観光農園いわかね
- 産業団地
- 都市計画

る。そのため、第2次栃木市総合計画や栃木市都市計画マスタープランにおいて産業集積ゾーンや産業拠点に位置付けているところであり、県の方針を踏まえ、地域活力の向上や良好な居住環境の維持等を図ることを目的として、平成30年3月に「市街化調整区域における地区計画制度活用方針」を策定し、基準に適合する流通業務施設などの立地を認めている。

なお、県の指導に加えて上乗せ指導はしていないが、地区計画については、周辺の自然環境との調和を図りながら、地域活力の向上等を目的として定めた市の方針に基づき進めている。



一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



森戸 雅孝 議員  
真政クラブ

**男女の出会いによって、結婚  
に関心を示してくれることを  
期待する**

本市には、「恋人の聖地」として認定を受けたハートランド城や谷中湖があり、アクアスポーツやサイクルスポーツ、スカイスーツでぎわいを見せている。

近年、少子化の原因として若者の非婚化・晩婚化が挙げられており、婚姻の件数を増やすことが少子化の歯止めにつながると考える。

現在、多くの自治体が若者の非婚化・晩婚化対策として結婚支援を行っているが、本市においても、男女の出会いの場として「恋人の聖地」をイベントに活用できると考えるが、見解を伺う。

**【答弁】** 癸生川総合政策部長

**「恋人の聖地」を活用し、  
出会いの場を創出していく**

**●人口減少と少子化**

本市における結婚支援策については、昨年10月にハートランド城および渡良瀬遊水地内の谷中湖が「恋人の聖地」に認定されたことを受け、市内外へPRを図るとともに、移住・定任のさらなる促進、さらには少子化対策の一助とするため、本年度は結婚支援イベントの実施を計画している。計画の内容は、栃木市勤労者総合福祉センターにて平成21年から定期的に開催されている「ふれあいパーティー」を参考とし、「恋人の聖地」として認定を受けたハートランド城および谷中湖におけるイベントを中心に、移住・定任につながるような市内各所を巡るツアーを検討している。

今後、結婚に対する希望をかなえるため「恋人の聖地」を活用し、出会いの場を創出していくとともに、栃木県の「とちぎ結婚支援センター」と連携を図りながら結婚支援に取り組んでいく。



広瀬 義明 議員  
自民未来

### 計画の段階は過ぎた 市民意識高揚の施策を求める

本年3月、第2次栃木市環境基本計画が策定された。環境の各分野が網羅された計画である。しかし、残念ながら環境基本計画を詳細に理解する市民の方がいかになるのか。環境への取り組みは、市民と事業者の理解・協力が不可欠であり、今後市を挙げて取り組んでいくには、プラスチック資源循環促進など、生活に密着した施策の展開が望まれる。市・市民・事業者が三位一体となった環境への取り組みを期待したいが、具体的な事業の展開について伺う。

答弁 大豆生田生活環境部長

### 市・市民・事業者が一体となって取り組みを進める

本市では、2月11日に栃木市ゼロ

### ○未就園児対策 ●栃木市の環境施策

カーボンシティ宣言と併せて、ごみ減量宣言を行った。また、第2次栃木市環境基本計画では、重点的な取組として「生態系の保全」、「市民一人当たりの生活系一般廃棄物の減量化」、「2050年カーボンニュートラル推進」の3つを掲げた。

生活系一般廃棄物の減量化は生活に直結しており、市民にも取り組みやすい内容と考えていることから、「ごみ減量化の基本である「使い切り」「食べきり」「水切り」3きり運動について、広報とちぎや市ホームページでの周知を行ってきたが、イベント開催時には、生ごみの水切りグッズの配布を行うなど、さらなる運動の強化を図っていく。

今後もごみ減量化に向けて、市・市民・事業者が一体となった「豊かな自然と歴史 みんなでつなぐ 環境都市とちぎ」の実現を目指していく。

一般質問の詳しい内容はこちらからアクセス →



針谷 正夫 議員  
かがやき

### (仮称)イス・デスクデータ バンクで老朽化の解決を

市内小中学校においては、児童生徒のイス・机が老朽化している状況があり、何らかの対策が必要である。

今回、教育委員会事務局の調査により、児童生徒数の減少等の理由から、市全体として見ると、イス・机の余剰在庫がある一方で、交換を必要とする学校があることも把握できた。

そこで、「見える化」された在庫量と需要量をデータバンクとして管理・活用し、安心して使えるイス・机の再配置を戦略的・積極的に進め、老朽化の解決を図る考えはないか。

答弁 金井教育次長

### より詳細な情報のデータ化を進め、イス・机の更新に活用していく

- 学校の安心安全な施設・設備・備品(イス・机等)の維持・整備
- 高額療養費制度と「限度額適用認定証」または「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付

老朽化したイス・机を更新し、児童生徒の安全・安心を確保するためには、新規購入と在庫活用する方法がある。

これまでは、各学校において対応していたが、提案いただいたイス・机のデータバンクを運用することにより、在庫が効率的に活用されるとともに、学校予算における備品購入の負担が減少し、学校予算の有効活用を図ることが期待できるものと考ええる。

今後は、このデータバンクを運用していくために、より詳細な在庫の状態やサイズごとの数量を把握し、データ化を進め、市内小中学校のイス・机の更新に活用していく。





## ▶ 本市の取り組みが高く評価されました（議会運営委員会）

5月19日に、栃木県高根沢町議会より議長と議会活性化特別委員会の委員6名が来局され、議会運営委員会の針谷正夫委員長、森戸副委員長が「議会基本条例について」説明を行いました。

説明後の質疑応答では、会議の公開についてや自由討議について、議会基本条例の達成状況の検証方法についてなどさまざまな質問をいただき、栃木市の議会基本条例の特徴について再認識する機会にもなりました。



議会基本条例について説明する針谷委員長

本市議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度より視察研修の実施および視察受け入れを見合わせていましたが、5月8日の新型コロナウイルスの感染症法上の取り扱いの変更に伴い、視察研修の実施および視察受け入れを再開しました。

## ▶ 委員構成の変更がありました（広報委員会）

定例会初日に行われた副議長選挙において、天谷議員が副議長に就任されたことに伴い、広報委員会の役職と委員に変更がありましたので、広報委員会の新しい委員をご紹介します。

<b>委員長</b>	雨宮 茂樹	<b>副委員長</b>	小太刀 孝之		
<b>委員</b>	川田 俊介	市村 隆	浅野 貴之	小平 啓佑	
	坂東 一敏	内海 まさかず	青木 一男	白石 幹男	



広報委員会の様子  
(議会だより1号作成につき、2回の委員会を行っています。)



表紙写真選定の様子  
(写真アドバイザーの意見を伺うこともあります。)

広報委員会では、議員が主体となった議会広報紙の作成に取り組んでいます。

モニターアンケートの結果の検証や紙面の構成、作成原稿の確認などさまざまな意見を出し合い、分かりやすい広報紙をお届けします。

新しく就任された委員長・副委員長のもと委員一丸となってよりよい広報紙を目指し努力してまいりますので、今後ともご愛読くださいますようお願いいたします。



# の収支状況をお知らせします

## 令和4年5月～令和5年3月

※会派議員数は令和5年3月末現在、( )内数字は再掲 ※政務活動費の基準日は各月の初日

(単位：円)

会 派 名	創政会	公明党 議員会	自民未来	かがやき		創志会	真政クラブ		無会派 白石幹男	無会派 中島克訓	無会派 福富善明	計	
				5月	6月 ～3月		5月	6月 ～3月		6月 ～3月	6月 ～3月		
議員数(名)	2	3	8	(5)	4	2	(7)	6	1	1	1	28	
議員数変更時期等	—	—	—	5月31日 1名離脱	6月1日	—	5月31日 1名離脱	6月1日	—	6月1日	6月1日		
政務活動費申請額	22,298	210,841	406,384	16,392	178,855	224,917	19,075	232,489	271,616	16,236	27,001	1,626,104	
政務活動費交付決定額	22,298	210,841	406,384	16,392	178,855	224,917	19,075	232,489	271,616	16,236	27,001	1,626,104	
支 出 額 内 訳	1 研究研修費	0	75,440	0	0	0	20,280	0	7,000	50,940	0	0	153,660
	2 調査旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3 資料作成費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 資料購入費	0	110,550	300,070	11,095	130,555	169,802	13,820	156,876	201,247	0	2,200	1,096,215
	5 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7 その他の経費	22,298	24,851	106,314	5,297	48,300	34,835	5,255	68,613	19,429	16,236	24,801	376,229
実支出額	22,298	210,841	406,384	16,392	178,855	224,917	19,075	232,489	271,616	16,236	27,001	1,626,104	

交付上限額 月額3万円×11カ月×28人 9,240,000円 (A)  
 交付決定額 1,626,104円 (B)  
 執行率 17.6% (B/A)





# 政 務 活動費

# 令和4年度政務活動費

栃木市議会では政務活動費の適正な運用をするため、平成29年4月から後払い式を導入しています。

また、使途の透明性・公開度を高めるため、領収書などの全ての収支関係書類をホームページで公開しています。

## 政務活動費とは？

市議会議員が行う調査研究活動等に必要な経費の一部を助成するものです。

本市議会では、地方自治法に基づき「栃木市議会政務活動費の交付に関する条例」を定め、市議会における会派（所属議員 1 人の場合も含む）に対し、使途基準によって適正に支出されたもののみ政務活動費を交付しています。

## どんなことに使われているの？

1. **研究研修費** 会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費、または会派の所属する議員が他の団体の開催する研究会・研修会に参加するために要する経費  
(例：会場費、講師謝金、出席者負担金・会費等)
2. **調査旅費** 会派が行う調査研究活動のために必要な先進地調査、または現地調査に要する経費 (例：交通費、宿泊費等)
3. **資料作成費** 会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費  
(例：印刷製本費、翻訳料、事務機器リース代等)
4. **資料購入費** 会派が行う調査研究活動のために必要な図書・資料等の購入に要する経費
5. **会議費** 会派が行う調査研究活動のための会議、住民からの市政に対する要望・意見等を聴取するための会議等に要する経費  
(例：会場費、印刷費等)
6. **人件費** 会派が行う調査研究活動を補助する臨時の職員を雇用する経費
7. **その他の経費** 上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費  
(例：議会指定のタブレット端末の通信経費、消耗品費等)



## 令和4年度政務活動費交付金収支状況

### 令和4年4月分（全体概略）

交付上限額	月額3万円×1カ月×29人
	870,000円 (A)
交付決定額	50,928円 (B)
執行率	5.9% (B/A)



詳しくはホームページを見てね。



※令和4年度は4月に市議会議員選挙が行われ、議員が改選となったため、政務活動費は5月以降分の詳細を掲載しております。



# モニターインタビュー No.32

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。 (今回のインタビュアー：雨宮委員)



議会広報紙モニター  
大庭 麻美さん

### Q：モニターを受けての感想は

A：今までは市議会だよりをあまり読んでいませんでしたが、モニターになってからは読むようになり、議会や議員の普段の活動が分かるようになりました。

### Q：子育て支援策について思うことはありますか

A：子どもの数を増やすことを目指して行く中で、子育てに悩む人も多いと思います。産前、産後の相談をもっと気軽にできるような相手や近い場所を増やしてほしいと思います。

### Q：今後の栃木市に望むことはなんですか

A：超高齢化社会になるといわれている中、介護や医療費が増えてしまうことが心配されます。健康寿命を延ばすために行うことに補助を出したり、健康マイレージポイントの拡大などをしてほしいと思います。

## 9月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土	
8/20	21	22	23	24	25	26	
				新聞折込	本会議 議案等提案 決算特別委員会		
27	28	29	30	31	9/1	2	
		本会議 『一般質問』					
3	4	5	6	7	8	9	
			決算特別委員会 会派代表質問	常任委員会・決算特別委員会分科会 (総務)	(民生)		
10	11	12	13	14	15	16	
	常任委員会・決算特別委員会分科会 (産業教育) (建設)						
17	18	19	20	21	22	23	
	敬老の日			決算特別委員会 分科会長報告			
24	25	26	27	28	29	30	
		本会議 議案等採決					

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、8月24日(木)に新聞折り込みを予定しています。

一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。ぜひご覧ください。



栃木市  
マスコットキャラクター  
とち介

### 栃木市議会広報委員会

6月定例会が6月9日～28日の会期で開催され、議会初日に天谷副議長が新たに選任されました。議会機能をさらに高めるために議長、副議長を中心に時代に合った改革に議員全員で取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ変更され、社会経済活動もコロナ発生前に戻りつつあります。議場も設置されていたパーテーションが撤去されるとともに、傍聴席の人数制限がなくなり、本来の姿に戻りました。今後も皆さまにご愛読いただけて「議会だより」の発行に努めてまいります。併せて議場にもお越しただければ幸いです。

(小太刀孝之記)

委員	雨宮 茂
副委員	小太刀 孝之
委員	川田 俊
副委員	市村 隆
委員	浅野 貴
副委員	小平 啓
委員	坂東 一
副委員	内海 一
委員	青木 幹
副委員	白石 幹
委員	若松 千草

### 写真アドバイザー

若松 千草

白石 幹

青木 幹

内海 一

坂東 一

小平 啓

浅野 貴

市村 隆

川田 俊

小太刀 孝之

雨宮 茂

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。 (TEL: 0282-21-2505)